

演習問題解答例 (3)

岩山隆寛 *

演習問題^{*1}

1. ベクトル表記の練習をしましょう。アルファベットの大文字, 小文字, 合わせて 52 文字をベクトル表記しなさい。要するに, 太文字で書いてみる。幼稚に思うかもしれませんが, 文字 (ひらがな, カタカナ, 漢字, アルファベット) を習ったときに沢山練習をしたと思います。練習しないと文字は書けません。ベクトルを書けない人が例年極めて多いので, あえて練習問題にしました。太文字に見えるように自分なり工夫してみましょう。

解答例: R. P. Feynmann 他, 「ファインマン物理学 III」, 1969 年, 岩波書店, p.15.) 参照.

2. 東に向かって流速 6 km/h で水が流れている川を, 船首を真北に向けて水に対する相対速度 8 km/h で進む船の速さを岸からみるといくらになるか。またその進行方向はどうなるか。

ヒント: 速度は大きさと方向を持つベクトルなので, ベクトルの足し算を行う。ベクトルの大きさが速さであり, 方向は x 座標と船の速度を表すベクトルとの間の角度もしくは角度の \tan で答えてみましょう。^{*2} 座標系は岸に固定した座標系で, 東向きに x 軸, 北向きに y 軸をとる。この場合は 2 次元で問題を考える (高さ方向, z 方向, は考えない)。そこで, 例えば, 川の水の速度は $\mathbf{v}_{\text{river}} = 6\mathbf{i}$ と表される。ここで, \mathbf{i} は x 方向の単位ベクトルである。

* 福岡大学理学部地球圏科学科. iwayama@fukuka-u.ac.jp

^{*1} 提出する際には A4 のレポート用紙で提出してください。提出されたレポートの大きさが不揃いだと紛失してしまう恐れがあるので。

^{*2} もちろん, y 座標と船の速度を表すベクトルとの間の角度の \tan でもよい。方角をどう表すかを自分で設定すればよい。教科書 (p.5 [問]) では y 座標と船の速度を表すベクトルとの間の角度の \tan で答えている。

解答例： 川岸に対する船の速度を \mathbf{v}_{ship} , 川の水に対する船の速度を \mathbf{u}_{ship} , 川岸に対する川の水の速度を $\mathbf{v}_{\text{river}}$ とする (図 1 参照). 座標系は岸に固定した 2次元のデカルト座標系を採用し, 東向きに x 軸, 北向きに y 軸をとる. このとき,

$$\begin{aligned}\mathbf{v}_{\text{river}} &= 6\mathbf{i} \\ \mathbf{u}_{\text{ship}} &= 8\mathbf{j} \\ \mathbf{v}_{\text{ship}} &= \mathbf{v}_{\text{river}} + \mathbf{u}_{\text{ship}} \\ &= 6\mathbf{i} + 8\mathbf{j}.\end{aligned}$$

と表される. ここで, \mathbf{j} は y 方向の単位ベクトルである. 従って, 川岸に対する船の速さは

$$\begin{aligned}|\mathbf{v}_{\text{ship}}| &= \sqrt{6^2 + 8^2} \\ &= 10 \text{ [km/h]}\end{aligned}\tag{1}$$

であり, 川の下流 (x 軸の正の方向) に対する船の方向は, $\tan \theta = \frac{4}{3}$ もしくは, $\theta = \tan^{-1} \frac{4}{3}$ である.*³

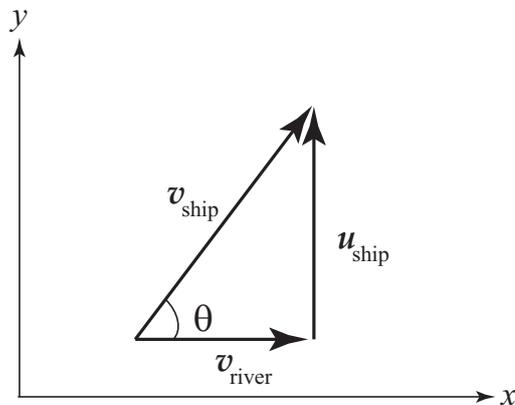


図 1 川の水の速度 $\mathbf{v}_{\text{river}}$, 川の水に相対的な船の速度 \mathbf{u}_{ship} , および, 岸に相対的な船の速度 \mathbf{v}_{ship} の間の関係.

*³ $\tan^{-1} \alpha$ は $(\tan \alpha)^{-1}$ の意味ではなく, \tan^{-1} でひとまとまりで意味を持ち, \tan の逆関数の意味する. しばしば \arctan とも書かれる. つまり, $\tan^{-1} \alpha = \arctan \alpha$ である.
 $\tan^{-1} \frac{4}{3}$ とは 正接 (タンジェント) が $\frac{4}{3}$ となるような角度のことである.

3. m をスカラー, \mathbf{a} と \mathbf{F} は共にベクトルで, それぞれデカルト座標系で

$$\begin{aligned}\mathbf{a} &= a_x \mathbf{i} + a_y \mathbf{j} + a_z \mathbf{k}, \\ \mathbf{F} &= F_x \mathbf{i} + F_y \mathbf{j} + F_z \mathbf{k},\end{aligned}$$

と分解されるとする. ここで, $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は x, y, z 方向の単位ベクトルである. もし, $m, \mathbf{a}, \mathbf{F}$ が

$$m\mathbf{a} = \mathbf{F} \tag{2}$$

の関係式を満たすとき, 各成分が満たす方程式を答えなさい.

解答例: (2) の \mathbf{a} と \mathbf{F} をデカルト座標系を用いて分解した形で書き下すと, (2) は

$$\begin{aligned}m\mathbf{a} &= \mathbf{F} \\ \implies ma_x \mathbf{i} + ma_y \mathbf{j} + ma_z \mathbf{k} &= F_x \mathbf{i} + F_y \mathbf{j} + F_z \mathbf{k},\end{aligned}$$

そこで (2) の x, y, z 成分が満たす式はそれぞれ,

$$\begin{aligned}x \text{ 成分: } ma_x &= F_x, \\ y \text{ 成分: } ma_y &= F_y, \\ z \text{ 成分: } ma_z &= F_z,\end{aligned}$$

である.

—— 今回の宿題のポイント ——

1. ベクトル記号は手書きで書けるように練習しましょう. また, これと関連してベクトルとスカラーの記号の区別をきちんとなさましょう.
2. ベクトルを成分を用いて書くときには,

$$\mathbf{A} = A_x \mathbf{i} + A_y \mathbf{j} + A_z \mathbf{k} \tag{3}$$

のように単位ベクトルまで付して書きましょう.

$$\mathbf{A} = (A_x, A_y, A_z) \tag{4}$$

とは書かないようにしましょう.